

2026年 1月29日

FIE 競技規則の変更について(周知) (レッスン及びベンチに入る際の服装について)

公益社団法人 日本フェンシング協会
ルール・審判委員会

2025年12月にFIE 試合規則の競技規則(t.20)及び(t.131)が変更となりました。つきましては、国内においては **2026年2月1日以降**、国内大会において適用することとします。変更点を掲載いたしますので、周知願います。

t.20

1.選手は、自己責任のもと、またリスクや危険を理解した上で、武器を装備し、用具を装着し、ユニフォーム等を着用してフェンシングを行う。

2. FIE公式競技会の会場（競技関連の練習場を含む）において、他の選手とウォームアップまたは練習を行うすべての選手は、FIE規定の完全な防具及び用具を必ず着用しなければならない。 これには、m.25に従ったズボン及びロングソックスが含まれる。

レッスンをを行う者は、最低限、コーチ用プロテクター、フェンシンググローブ、ロングパンツ及び規定のマスクを着用しなければならない。

レッスンを受ける選手は、必ずマスク、グローブ、胸部プロテクター、胴体と肩を覆う上衣、膝上10cmまでのショートパンツを着用しなければならない

3.本規則や添付書類の基準、特記されている安全対策及び本規定(用具規定参照に記述されている規則は、選手の安全を増すためのものであり、安全を保証するものではない。故に、適用の有無にかかわらず、FIE、競技試合の組織者、役員、スタッフ、または事故を起こした者に対して、責任を負わせることはできない。

t.131

1. プール戦の間、ピスト周囲の区域の内部に立ち入ることが許可されるのは、選手と審判のみである。ピストの周囲の区域の大きさは 40メートル × 10メートル を超えてはならない。

2.個人戦のエリミナションディレクトにおいて、選手のコーチとトレーナーと用具担当技術員は、選手の近くにいることを禁止されている。コーチは運営側によって指定された場所にある競技エリア内にいることを許可されている。

3.主審は、主審が必要であると判断する場合には一時的にコーチ、トレーナー、用具担当技術員のうちの1人を選手の援助のために近寄ることを許可できる。

4.選手が進行中の試合に出場している国は、ピスト区域の近くとピスト区域の外側の出入り口に2人まで配置できる。運営側は、これらの人々のために必要な場所を準備しなければならない。

5. 競技区域内にいるコーチおよびチームキャプテンは、長ズボン、胴体と肩を覆う上衣、そしてつま先の覆われたシューズを着用しなければならない。

6.世界選手権においては、競技区域内に立ち入るコーチおよびチームキャプテンは、所属国を代表するジャージを着用しなければならない。

